

# 草津市における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 □地域未来塾 ■放課後子ども教室 □土曜日の教育支援

## ■目指す姿

草津市では平成10年度から、「地域協働合校推進事業」に取り組んでおり、学校・家庭・地域がそれぞれの教育機能を十分に発揮し、互いに協働することにより、子どもと大人がともに学び合う「地域学習社会」づくりを目指している。

昨年度からは、地域課題解決型の学習に向け、子どもたちが身近な課題に主体的にかかわることで地域社会の一員としての意識と行動力を身につけられるよう、より地域に密着した活動を進めている。

## ■本年度の具体的活動

### (1) 運営委員会

第1回(4月13日)地域協働合校推進事業の趣旨、学校運営協議会との連携推進について説明

第2回(1月31日)実績報告書について説明

### (2) 地域コーディネーター

業務説明会(4月17日)地域コーディネーターの機能と業務について

情報交換会(7月12日)1学期の事業について情報交換

総括会議(1月25日)一年の振り返り、来年度に向けての課題共有

### (3) 研修

「コミュニティ・スクールくさつ兼地域協働合校全体研修会」(11月28日)

対象:学校運営協議会委員、地域連携担当教員、市立小中学校PTA会長、地域コーディネーター、まちづくり協議会長、市関係課職員

内容:・大阪公立大学 伊井直比呂教授の講演

・草津市の取組概要について説明

・松原中学校の教諭と地域コーディネーターによる実践発表

### (4) 広報活動

・地域協働合校の理念や事業内容を掲載したリーフレットの発行

・各校、各地域の地域協働合校事業をまとめた実践事例集の発行



【 全体研修会 】

## ■本年度の成果

地域課題解決型の活動を目指し、地域協働合校での学びを従来のように学校内で完結するのではなく、学びを地域に発信して共有できるよう、各校が工夫やアイデアを生かして取組を進めた。また、情報交換会や全体研修会において地域コーディネーターの交流の場を設けることにより、事例の共有を図った。地域コーディネーターの連携による新しい事業の実現、同一中学校区の地域コーディネーター同士の自主的な会議の開催等、ネットワークのつながりによる取組が展開できた。

## ■課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

学校と地域が目標やビジョンを共有しながら有機的に連携し、社会全体で子どもを育てていく体制を盤石にすることが重要であり、活動への協力者、後継者の育成や発掘が大きな課題である。

## ■地域学校協働活動推進員の委嘱状況

平成31年4月から委嘱しており、今年度は地域学校協働活動推進員として24名委嘱した。

## ■域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

平成30年4月から市内全小中学校(計20校)に学校運営協議会を導入している。